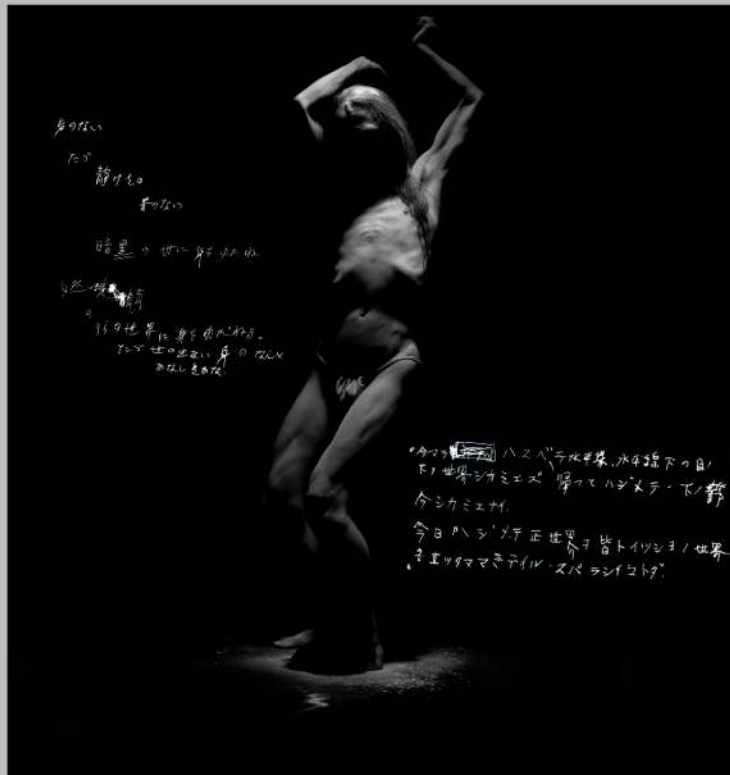


竹之内 淳志 JINEN 舞踏即興ソロ Atsushi Takenouchi JINEN Butoh improvisation solo
 自然現象のうらの世界に身を委ね -Vers l'Autre Monde...-

2011,4/17(日) 開演 午後5時 スペース ALS-D(京都西陣)



短歌文字 竹内 豊 写真 Georges Karam

書道を好んだ父が生前病床で残した短歌が二句あります。初めの句は『今までは水平線下の目の下の世界しか見えず。今日が初めて皆と一緒にの世界に戻ってくる。今、立ったまま世界を見ている、素晴らしいことだ。』 次の句は『声のないただ 静けさの 音の無い 暗闇に身を委ね。さらに、自然現象のうらの世界に身を委ねる。ただ世に出れぬ身の、なんと哀しきかな、、、、。』そして、数か月後、父は次の世界へ旅立った。

この二句にある、水平線下の目の下の世界、自然現象のうらの世界、その世界の中で、またその世界を通り抜け、父は何を見、体験したというのだろうか、、、。ひとひらの葉の裏と表のように、生と死があり。自然の摂理で生けるものは必ず死ぬ。何年先か何十年先か知らぬが、この次は僕と覚悟する、、、、。

逝く時には誰もが、その世界を体験するものであろう、、、、。しかし、何時かそこに行く者として、この父の見た無意識の世界と意識の世界の狭間に、舞踏を通してほんの少しでも触れてみたいと思う。そして、父の魂の旅路を追ってみたい、、、。

死とは、魂がこのカラダという世界から解放される旅立ちなのだろうか。一人の全ての人生経験や感情や想いが大自然に昇華し溶けていく旅立ちなのだろう、、、、。母からの電話で、父は静かな落ち着いた表情で逝ったと聞く、、、、。

*昨年(2010年)10月3日僕の父が旅立ちました。この父にこの舞踏を送りたいと思います。

舞踏：竹之内 淳志 音楽：小宮 広子 -水、石、竹、鈴、他・声-

予約 2500 円 当日 3000 円 問合せ 090-5155-3543 yurayura5@nike.eonet.ne.jp (由良部)

※定員 30 人に達し次第、受付を終了しますのであらかじめのご予約をおすすめいたします。

竹之内淳志 Atsushi Takenouchi 62年三重県生まれ。80年に“北方舞踏派”に入門、『鷹ざしき』で舞踏の創始者・土方巽に振付を受ける。86年「自然」より広く全てを意味する「じねん」というコンセプトでソロ活動始める。96～99年、日本の様々な土地風土、人や音楽から感じたままを即興舞踏にする吟遊舞踏『じねん』ツアーにて日本全国600箇所を公演。この間に大野一雄・慶人の宇宙観に触れ師事。99～00年、JINEN 舞踏『太陽と月』にてヨーロッパ・アジア12ヶ国を巡り、自然や歴史的な場にて公演しその映像を記録。現在はヨーロッパを拠点に活動している。これまでの経験を基に、あらゆる状態や環境との繋がりで人の内から生まれる千差万別の心情や動きを《JINEN 舞踏の基礎》とし、それら内からの動きを世界共通の身体言語として捉え、様々な国のアーティストと作品を共同制作。http://www.jinen-butoh.com

